

300 ^{123}I -Iomazenil を用いた脳内ベンゾジアゼピン受容体の定量的測定における検査方法の簡略化
大西良浩 (日本メジカックス)、米倉義晴 (京大 脳病態)、
向井孝夫 (京医技短大)、西澤貞彦、田中富美子、藤田透
石津浩一、岡沢秀彦、玉木長良、小西淳二 (京大 核)

^{123}I -Iomazenil を用いたベンゾジアゼピン受容体定量法の簡略化について正常志願者 6 例を対象に検討した。脳内非特異的結合と受容体の親和性を一定と仮定し、リガンドの脳への輸送と受容体への結合を変数とした 3-compartment モデルを用いて 2 回の SPECT データから table look-up 法により求めた速度定数は、120 分間の動態 SPECT データをカーブフィットして求めた値とよく一致し、データ収集の簡略化が可能と考えられた。また、入力関数の形状を標準化すると 1 回の採血で、さらに、標準的な速度定数を持つ脳領域を仮定すると採血なしで、連続動脈採血による結果とよく相関する値が得られた。